

## ご存知ですか？浄水蛇口

～商品によって性能に大きな違いがあります～

浄水器の中には、水道蛇口直結型の商品がありますが、それと類似した商品に『浄水蛇口』（裏面参照。）があります。『浄水蛇口』は「きれいでおいしい水をつくる。」などとうたっていますが、浄水器ではありません。そのため、家庭用品品質表示法は適用されず、残留塩素等の除去性能は明らかではありません。

そこで、『浄水蛇口』の残留塩素除去性能はどれくらいあるのか、商品間に性能の違いがあるのかなどについてテストを実施し、都民に情報提供することとしました。

### 消費者へのアドバイス

- 1 残留塩素は浄水器、『浄水蛇口』で除去されますが、性能は浄水器の方が優れています。
- 2 『浄水蛇口』は、ろ材に「活性炭と亜硫酸カルシウム」が用いられているものの方が、「活性炭のみ」のものより残留塩素除去性能が優れています。
- 3 浄水器、『浄水蛇口』ともに、長時間使用しなかった場合は、通水した直後の水から細菌が検出されることがありますので、使用する前に少し通水するとよいでしょう。

### テスト概要

#### 1 テスト品

浄水器(水道蛇口直結型)：3 検体

『浄水蛇口』：6 検体

#### 2 テスト結果

- (1) 通水初期は、残留塩素除去率が浄水器と同程度の『浄水蛇口』もあった。2人世帯の40日使用相当量(約4,600ℓ)を通水した後の『浄水蛇口』の残留塩素除去率は大幅に低下した。
- (2) 『浄水蛇口』はろ材により差があり、「活性炭のみ」のものよりも「活性炭+亜硫酸カルシウム」の方が残留塩素除去率が高かった。
- (3) 2～3ヶ月使用した後通水を停止し、次の日の通水直後の水を分析したところ、浄水器、『浄水蛇口』ともに細菌が検出されるものがあった。しかし、いずれも20秒間通水した後は検出されなかった。
- (4) 浄水器の中に残留塩素ろ過能力が表示値よりも低いものがあった。

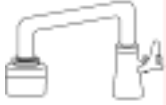

### 結果に基づく措置

- 1 浄水器、『浄水蛇口』は長時間使用しなかった場合には、通水直後の水から細菌が検出されることがあるので、使用する前に少し通水する旨表示するよう関係する業界団体に要望した。それを受けて、現在、業界団体では表示の改善に向けて検討している。
- 2 残留塩素ろ過能力が表示値よりも低い浄水器については、家庭用品品質表示法に係る不適正な表示として経済産業省に報告した。

問い合わせ先

東京都消費生活総合センター技術支援課

電話：03-3433-8563

区 分		浄水器（水道蛇口直結型） 	浄水蛇口 
表示について		家庭用品品質表示法（以下、「家表法」という。）に基づき、材料の種類、ろ材の種類、ろ過流量、浄水能力などを表示することが義務付けられている。	家表法は適用されず、左記の義務づけはない。 （今回テストを実施した浄水蛇口は、水道蛇口直結タイプの浄水器と構造、ろ材が類似している。）
テスト結果概要	実使用テスト	残留塩素除去率 ・通水初期： <sup>1</sup> 92～93%以上 ・約4,600 <sup>2</sup> ℓ通水した時点：78%以上	残留塩素除去率 ・通水初期： <sup>1</sup> 6～94%以上 ・約4,600 <sup>2</sup> ℓ通水した時点：3%～38%
	家表法に基づくテスト	残留塩素ろ過能力が家表法に基づく表示値より低いものがあった。	家表法は適用されない。
	ろ材による差	残留塩素の除去性能は、ろ材による差はなかった。	ろ材が「活性炭のみ」のものより「活性炭＋亜硫酸カルシウム」の方が残留塩素の除去性能が高かった。
	細菌	2～3か月使用後通水を停止し、翌日通水した直後の水からは、細菌が検出されるものがあった。しかし、いずれも20秒間通水すると検出されなかった。	同 左
価格について		浄水蛇口より高価 今回のテスト品（819～1,554円）	浄水器より安価 今回のテスト品（241～525円）

1：通水量15ℓ時点

2：2人世帯の40日使用相当量

注) 残留塩素とは、水道水の安全確保のために水道水中に投入された塩素が、水道水に残留したものをいう。

残留塩素除去率とは、浄水器等を通すことにより除かれる塩素の割合をいい、実使用試験の結果を示す。残留塩素ろ過能力とは家表法に基づき、JIS S 3201「家庭用浄水器試験方法」により、残留塩素の除去率が80%に低下するまでの通過水量を示す。